

古くは古墳の石棺などの石材として利用されました。

凝灰岩の白い岩肌と濃い緑の対比が、遠くから眺め

前で呼ばれるようになりました。

ると鶴が屯しているように見えたことから、この名

動や風水による浸食によって現在の姿になりました。

動によって火砕流や火山灰が堆積し、のちの地殻変とう

奇岩群のことです。千数百万年前に二上山の火山活動がなく。 中がなくら せんすいりゃまんねんまえ にしょうざん かぜんかい 屯鶴峯は、香芝市との間にある、凝灰岩の白い かしょう かいましょう かいましょう かいましょう かいましょう しょうしゅう



み着いたと言われている伊達家の主人です。自分の

たお家騒動である、伊達騒動の難を逃れて山田に住

(き) 伊達弥十郎は、江戸時代初期に伊達藩で起こっ

伊達弥十郎を顕彰する記念碑が建てられています。

現在では、寄進を受けた土地の一つを利用して山田

活困窮者を救うなど、地域のために尽力しました。

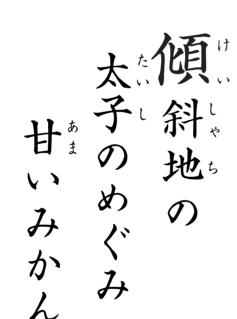
田を村に寄贈し、その収穫米で飢饉による多くの生た。 ぱん きょう しゅうかくまい ききん

集会所が建てられており、集会所前や正泉寺前にも



抜きんでている

の中にそびえ立つその姿が目に入ります。鎌田家は された、樹齢250年を超える巨木です。樹高は25 (文) 鎌田邸の楠は、大阪府の天然記念物にも指定 風情を残しており、この楠は地域のランドマークと 春日村の庄屋を代々つとめた家で、付近はかつてのかすがせらった。 メートル以上で、竹内街道を歩いていくと家並みがしたい。 して、変わらない日常を見守っています。



利用して、みかんが盛んにつくられています。中でのよう

(け) 二上山のふもとにある太子町では、その地形を

も、上の太子観光みかん園は関西最大級の広さを誇った。かかったいかがった。

り、南向きの斜面には約1万本のみかんの木が植え

られており、周囲を一望できます。太陽の光を十分に

に浴びたみかんは甘さがギュッと詰まり絶品です。

こに腰掛け

その跡が残ったと言われるのが葉室の五右衛門石で た人物です。五右衛門の出生地については諸説あり



